

起因物、事故の型：荷姿の物 - 崩壊・倒壊の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	8~9	地下青果売場で、キャリアに載せていた商品をスイングドアから中の鮮生庫にしまう際、段差にぶつかり商品が倒れ、左足の脛にぶつかった。	33	80209	100~299
1	16~17	当社工場内において、筒状の両面テープの材料（直径30cm、長さ約110cm、重さ約30kg）を運搬用台庫（高さ約50cm）から降ろそうとした際、誤ってずり落としてしまい、右足親指と人差し指にあたり負傷した。	36	10899	1~9
1	22~23	バースで積み込みをしていたときに、ゲートとバースとに傾斜が生じてしまった（大型用バースでの積み込みをした）ため、その傾斜でテナー（荷物）のタイヤがすべり横転し、荷物とトラックの間に左足をはさみ、脛を骨折した。	59	40301	—
1	9~10	店舗駐車場にて、空のカゴ車を移動させていた時、誤ってカゴ車を倒してしまい、左足の親指を負傷した。	64	80209	10~29
2	23~24	貨物自動車の荷を下ろす作業中の事故である。荷を下ろそうとして（巻いたクロス約60kg）、バランスを崩したクロスが倒れそうになり、押さえたところ重みにより左手に激痛がはしり、負傷した。	61	40301	1~9
2	15~16	構内パレット保管場所でパレット整理作業中、立て掛けていたパレットが倒れ右足甲部が下敷きになった。	56	80109	50~99
		得意先店舗の倉庫内で作業中、重機が梱包されていた段ボールが倒れて来			

2	14~15	たので受け止めようとしたが、予想外に重く支えきれずに右肩に落下し骨折した。	57	170209	—
2	8~9	店舗バックヤードののぼり旗置場にて、開店準備でのぼり旗を運び出すためののぼり旗10本を持ち上げた際、取り出したいのぼり旗の横棒が他ののぼり旗に絡まっていたのでそれを直そうと持ち上げた10本の登り旗を向かって左側の壁に立て掛け、絡みを直そうと上向きで作業をしていたところ、立て掛けていたのぼり旗10本が倒れてきて顔面と左上半身にあたり負傷した。	32	80209	50 ~ 99
2	11~12	本社工場ストックヤードにおいて、L字型PC板重さ約7t (H4305×W2950×T180×1580) 製品検査の為3人で、クレーンで建起こし作業を行い製品は自立していた。Aさんは梯子に登って製品上部のフック取り外し作業、Bさんは梯子を支えており、下にあったモンキーが邪魔になり、Cさんに支えを交替してもらい移動する。Aさんは、フックを外し梯子から降りかけた時に何かしらの原因で、L字型パネル板が倒れだし、Cさんはクレーン本体の枠とパネル板に挟まれて頭部粉碎骨折で死亡した。	53	10901	50 ~ 99
2	9~10	工場内出荷場で不足製品の出荷準備をしていた。製品（ウレタンスポンジ）はプラスチック箱（55×36×15）に入れてあり積み重ねて置いてある。必要な製品は下段にあった為、上の箱を横の箱の上に通常と違う置き方をした。しゃがんで製品を取り出していた時、横に置いた箱が崩れ、頭、右首、左肩を打撲、切傷した。	39	10805	10 ~ 29
2	21~22	キャスター付コンテナへ荷物の積み込み作業をしていたところ、荷崩れを起こし、荷物が左肩に落下して挫傷してしまった。	53	40301	500 ~ 999
2	8~9	工場内で、ミキサー（パンの生地を練る機械）からパン生地を取り出して、生地をねかすボックスに入れた時、ボックスが転倒して左足が挟まれた。	65	10104	50 ~ 99
		弊社貨物ターミナルにおいて、大型トラックより荷卸しの作業中、トラッ			

2	8~9	ク荷台の中で缶入りの荷物（1缶約26kg）を木製のパレットに積載し、ハンドリフトにて移動させた際、トラック荷台とターミナルとを橋渡する鉄板上を通過中にバランスを失い、荷崩れしそうになった為、慌てて両手で支えたが、荷崩れした缶が胸部へ衝突し、別記部位を負傷したものである。	51	40301	30 ~ 49
3	17~18	荷物を積むプラットフォームにトラックを接車し、タイヤ付きBOXカゴを荷台に積むためにカゴを引っ張って搬入していた。（BOXカゴには日用品雑貨が入っている）プラットフォームとトラック荷台の間に段差があり、BOXカゴを引っ張って荷台に搬入してたとき、段差にBOXカゴのタイヤが引っかかり、BOXカゴがバランスを崩し倒れてきた。慌てて逃げたが、右足がBOXカゴの下敷きになり、足首を骨折した。	39	40301	10 ~ 29
3	9~10	店内で商品を陳列中、積んでいた商品保管用のケースがバランスを崩し倒れ、背中や腰に当たり負傷した。	37	80209	10 ~ 29
3	13~14	店裏（厨房の奥）に保管している生ビールサーバーの樽の交換中、二段に積まれた樽の上部の樽を持ち上げた際に下の樽が横転し、右足の左上箇所に乗った。	41	170101	50 ~ 99
3	16~17	地下菓子売り場で品出し作業中に、品出ししている商品とは別の下から2番目の商品が落ちそうになりあわてて押さえた時、低い棚だったので左手をついて右手で商品を押さえた時に、左手に体重がかかり骨折した。	52	80209	50 ~ 99
3	19~20	資材置き場で、リサイクル用圧縮ラップ（重量約30kg、外寸60×60×100cm）を手作業での積上作業中に、地上約150cmの3段目に積み上げているところで当該圧縮ラップが倒れそうになり、それを支えようとして咄嗟に右手を差し出したとき、右手小指を負傷した。	45	80109	1~ 9
3	9~10	当事業所工場内において、ガラスが束になっているパレット（重さ約200kg）をジャッキ台にのせて移動させる作業をそばで手伝っていたとき、荷物のバランスが崩れてパレットごと倒れ、下敷きとなった。	21	10902	1~ 9
		1F荷降ろし場で、ロールボックスから荷物をレーンにおろしている最中、			500

3	5~6	ロールボックス内で荷崩れが発生し、重い荷物が右手人差し指・中指・薬指に落ちて打撲を負う。	20	40301	~ 999
3	10~11	スーパーに米の配達が一個あり、スーパーのカート台車に載せている際に高積みした為に積んでいた米が崩れ、咄嗟に出してしまった左足の上に落ち、左足を脱臼骨折した。	56	40301	50 ~ 99
3	14~15	お客様宅の不要家具を運搬中、ロープが緩み軽四トラックに積んだタンスが荷崩れし、ロープをかけ直そうとした所、タンスが倒れてきて左手親指に当たり負傷した。	54	80209	1~ 9
3	8~9	店のホーム上で荷卸作業中、壁にたてかけていた金網（荷物）が倒れ、作業していた当該運転手の左ふくらはぎに直撃し、左下腿挫創のケガを負った。	34	40301	10 ~ 29
4	10~11	被災者は、当事業所倉庫内にてガラスパレットにガラス18枚（914cm×1829cm、厚さ5mm）を乗せ、倉庫内で移動作業を2名で行っていたところ、バランスを崩しガラスが倒れて下敷きとなり、頭部と手を切り、腰を強打し、背骨にひびが入り負傷した。	46	30309	1~ 9
4	15~16	自社倉庫内で荷くずれした肥料の片付け作業中、停止したフォークリフトに積載した肥料が荷くずれをして、被災者に肥料が落下してしまった。肥料を巻いていたラップの強度が不足していて、これに気付いて他の社員3名とともに肥料を押さえていたが被災者が下敷きになった。	18	80109	10 ~ 29
4	13~14	店長の2人で廃棄物をトラックに積み込む作業を行っていた。1800ケーキショーケースを積み込む際、パワーリフターで片側をトラックに載せ押し込んだが、バランスを崩してショーケースが倒れた。倒れたショーケースが足の上に落ち、左足小指骨折を負った。	50	80209	10 ~ 29
4	9~10	本社冷凍庫において積み重なった原料入りのコンテナを庫外へ移動中に、移動を終えたコンテナが不安定に積み重なっていたため背後から足に倒れかかり負傷した。	47	10109	30 ~ 49
		現場から指示があり入場し、固縛を外し荷下ろしの出来る状態にし、現場			

4	9～ 10	作業員が玉掛をして荷下ろし作業をしている間に荷台の片付けをしていた。荷台から降りようとして、トレーラーを駐車した横にある配管パイプに右足を掛け、左手で製品に手を掛け降りようとしたところ、製品が動いたので慌てて飛び降りたために転倒し、そこへ製品が左膝付近に落下して被災した。	62	40301	30 ～ 49
4	15～ 16	洗浄室保管庫からカートごとホテルパンを調理室棚に運んだ際、カートが引っ掛かり、力を入れてカートを動かしたとき、カート内のホテルパンが外に飛び出して足の上に落下した。	70	10109	30 ～ 49
4	6～7	当社1Fプラットにて商品の荷下ろし、荷捌き作業の最中、段ボール商材4ケースを二輪台車に載せ運搬していたとき、自身の右足が台車に接触した。積み付けした商品の荷崩れを防ごうと力んだ時に、右側の背中、腰、腿の裏側に痛みが生じた。	42	40301	50 ～ 99
4	14～ 15	工場1階の番重洗浄室において、2名で番重の洗浄作業を実施していたとき、もう1名の作業者が加工室側から汚れた番重を重ねて台車に載せ、洗浄室の中へ移動させていたところ、その重ねた番重が数枚（2～3枚）被災者の両足の上に落下した。その際、被災者の両足の指から甲の部分で打った番重で打った。	62	10109	100 ～ 299
4	15～ 16	工場の洗浄室において、屈んで飯缶の下洗いの作業を行っていたとき、近くに積んでいた飯缶が崩れてきた。その際に、残飯が入った重い飯缶を含め数個が頭頂部と身体にあたった。（飯缶に触れて、崩れたかも知れないが定かでない。）	43	10109	10 ～ 29
4	16～ 17	ガレージにて、4tゲート車のゲート部分でMラックコンテナ（高さ40cm位、サッシ枠が入っていてラックの重さは約100kg）を3つ積み上げていた。コンテナの積み具合が不安定だったためコンテナが倒れてきて、右足首に落下した。	29	40301	30 ～ 49
5	10～ 11	運搬先工場にて、運搬してきた廃棄物（生木）を下ろそうとアームロールの後ろ扉を開けた際、積んでいた生木が落下してきて、その下敷きになり負傷した。	42	150102	10 ～ 29

5	3~4	場内にて、3tトラック荷台での荷卸作業中に荷台内右側の高さ約180cmの位置に積まれていた商品（40×25×10cm、重さ約4kg）が崩れ、それを支えようとしたところバランスを崩し左側に積まれている商品（高さ50~60cm）に右脇腹が接触するような形で倒れ負傷した。	48	40301	50 ~ 99
5	13~14	折り畳み敷きパレティーナに製品加工に使う金属型材料を詰め、それを2段重ねにして、フォークリフトでの運搬の為の荷造りをテント倉庫内で行っていた際、下段パレティーナの箱の形を維持するためのロックが抜けそうな状態であり修正しようとした。本来は上段パレティーナを降ろしてから下段の修正作業を行わなくてはならないところ、上段を降ろさず作業を実行してしまい、ロックが抜け、体勢を維持できなくなり、上段諸共倒壊し、その上段パレティーナが額に当たり負傷した。	51	11502	10 ~ 29
5	9~10	商品を積んだ番重を台車に載せて出荷場へ移動中、床のくぼみに台車の車輪が引っ掛かり、倒れそうになった番重を支えようとして体勢が崩れて足を挫いた。	21	10109	100 ~ 299
5	8~9	20フィートコンテナ内にて荷下ろし作業中（バラ積商品をパレットに積み付け）、商品を積み付けたパレットを車両後方に移動していたところ、荷下ろし前の商品が突然倒壊し、当該作業者の背中側から崩れてきた。その際、商品に押される形となり、前方に体勢が崩れ右膝をパレットに強打した。	20	50101	100 ~ 299
5	10~11	自社倉庫にて、棚の上の荷物を取ろうとして引き抜いた時、隣の荷物が左肩に落ちてきて負傷した。	66	30309	1~ 9
5	21~22	バックヤードの米をカット台に載せ、売場下段の米を補充していた際にカット台の米が崩れてきて、崩れた米を手で押さえた際に手首を痛めてしまった。	19	80209	100 ~ 299
5	9~10	当日運搬予定の荷物（鉄骨）の積荷確認作業中、積荷がずれて指を挟まれた。	46	30209	10 ~ 29

6	15~ 16	当社倉庫内において、横倒しになっているフレコン（トランスバック直径1.5m×高さ1.5m、重さ1t飼料米入）をフォークリフトで起こし立て掛ける作業中、隣に積んであった三段積（高さ3.5m）のフレコンを支えてあるパレットがずれて、最上段のフレコンが崩れ落ち、横倒しになっているフレコンの近くで屈んで、こぼれ落ちている玄米を拾い集めていた被災者の背後から当たり、前倒しになって地面に顔面・首を打ち負傷した。	59	80209	1~ 9
6	13~ 14	店舗内バックルームにて備品の整理中、身長より低いガラス棚を持ち上げようとしたところ、棚板が外れてしまい、20枚ほど重なっていた棚板が足の上に落ちてきた。すぐに病院に行き、左足親指・人差し指・中指の粉碎骨折との診断を受けた。	35	80209	10 ~ 29
6	5~6	店舗商品管口にトラックを停めて、ドライバーと一緒に荷おろしをしていた。作業途中、ドライバーが誤ってストッパーを外してしまい、カゴ車（200kg程度）が倒れ、その下敷きになり、足首を骨折した。	61	80201	100 ~ 299
6	17~ 18	工場内にて、製品の入った箱の中から製品を取り出そうとした時、積み重ねてあった箱（約10kg）が崩れ落ちた。その際、バランスを崩して地面についた手の甲に箱が落ち、負傷した。	32	11509	30 ~ 49
6	11~ 12	クッションフロア等床材を梱包する出荷場で、別の商品のチェックをしている時に、台車に乗せてあった重さ30kg程のクッションフロアが、安全バーが外れていたため、スタッフの右半身に倒れてきた。	39	80209	50 ~ 99
6	9~ 10	営業所内において、自社荷物の積み下ろし作業中、荷物（1980mm×900mm×100mm、360kg）を載せたパレットをフォークリフトで運ぶ途中、路上の段差を通過した際、荷物がバランスを崩したため、急いでフォークリフトを降車して荷物を支えようとしたが、支えきれずに荷物が転倒した。その際、逃げきれずに残した左足を挟み、負傷したものである。	26	80209	10 ~ 29
6	10~ 11	雨で地盤がぬかるんでいる場所で荷卸し作業中、建築資材の束が倒れ負傷した。	69	40301	10 ~ 29
		荷物の配達のため住宅街に車両を駐車し、荷家から配達先のゴルフバッグ			

6	15~ 16	を取り出す際、ゴルフバッグ手前にあるお米30kgの荷崩れを危惧し、左手で押さえながらゴルフバッグを取り出したところ、荷崩れが起こり、左手に接触し負傷したものである。	26	40301	50 ~ 99
6	16~ 17	荷物の受け取りと搬送のため、工機にてトラック積み込みの準備中、荷台に荷物を立て掛けていたところ、不安定な状態で立て掛けていたためか、なんらかの振動により荷物が右足踵に倒れて来て骨折した。	30	170209	1~ 9
6	8~9	トラック（2t車）の荷台で積荷作業中、トラック庫内壁面に立て掛けていた、段ボールで梱包された商品（長さ1.8m位）が倒れ、箱の先が左足の甲に直撃し、負傷した。しばらく市販の湿布薬と氷で冷やし様子を見ていたが、痛み・腫れ共にひかなかった。	55	40301	30 ~ 49
7	16~17	就業時間中に、店舗にあるプレハブの冷凍庫内にて月末の商品棚卸しの作業中に、高く積み上がっていたダンボールの山が崩れ、10kg相当の箱が落下し、首のあたりに直撃した。	50	80109	10 ~ 29
7	13~14	事務所に運搬した卵をトラックのパワーゲートで降ろす際に、載せていた卵のケースがバランスを崩し、労働者の方に倒れてきたために下敷きとなり、腕の筋を痛め、骨折もしてしまった。	34	40301	10 ~ 29
7	9~10	1階高床部にてRC柱補修工事で作業を行う柱の前に区画されて台車に載った設備冷媒ラック材があり、作業の支障になるため被災者自身で台車を押し移動しようとした。少し荷が崩れてしまったので資材を自分で直し、今度は引っ張って移動を試みた際、荷が自分の方へ崩れ、5.4kgの冷媒ラック4~5枚が被災者の左足の上に崩れ落ちて負傷した。	44	30209	1~ 9
7	11~12	地形測量中、次のポイントに移動するため、左手にピンボールを持ちながら、1mの段差を下りようとした時、下から20cmの高さに鉄のカゴがあったためそれを利用しようと右足を掛けたところ、思いのほか弱く耐えきれずつぶれてしまった。その際、反転しながら尻もちをつく形で地面に落ちたと同時に、先にあった鉄骨の柱に背中を強打、それにより右側背部肋骨を骨折負傷してしまったもの。	58	170209	1~ 9

7	10~11	被災者は、材料保管庫において、材料のラベルを確認する作業をしていた。60キロほどあるコイル材（ドーナツ状のもの）が、立てかけてあり、その裏にあるラベルを確認しようとした際、コイル材がバランスを崩し、被災者の右足甲の上に倒れ、右足の甲を骨折したものである。	63	11209	30 ～ 49
7	11~12	6階に鋼製建具扉8枚を搬入し、EVホールRC手摺に立て掛け仮置きをしていた。他の作業に支障が出るので、移動しようとしたが、1枚を動かそうとした時に、扉を縦置きしていたため、8枚同時に倒れ下敷きになった。 (鋼製建具重量約32kg×8枚=256kg)	20	30201	1～ 9
7	16~17	事業場屋外においてベニヤ板（1.82m×0.9m×5.5mm）を従業員2名にて複数枚ずつ移動作業中、移動先より当該ベニヤ板十数枚が滑り落ち、通りかかった負傷者の足に当たり、反対側に置いてある資材（通柱）に倒れ受傷した。	77	30209	10 ～ 29
7	10～ 11	使用済みの棚板をカゴ台車に2段積みで立てかけて積んでいたところ、下段の棚板が斜めになっていたので積み直そうとして、上段の棚板を取り除いているときに棚板が倒れてきて、左手に当たった。	26	80209	100 ～ 299
7	7～8	荷卸しの為、トラックの観音扉を開け、ラッシングバーを外した際、荷物が崩れてきた。その荷を受け止めようとしたが、支えきれずに左腕を負傷した。	37	40301	1～ 9
7	15～ 16	倉庫内で作業中、被災者が、商品（会議テーブル）が縦積みされたカゴ台車付近を通行したとき、カゴ台車上から倒れてきた会議テーブルとぶつかり、骨盤を骨折したものである。	67	40301	30 ～ 49
7	14～ 15	荷下ろし作業中、荷台の上にいる運転手に荷物が倒れ、左足を負傷した。	43	40301	10 ～ 29
7	8～9	構内において、製品のドラム缶をホームからトラックの荷台に載せようとしたとき、ホームと荷台の高低差があり、荷台へ降ろした直後にドラム缶が倒れて、避けたものの右足が避けられず、右足の指を骨折し、7cm程の開放の傷を負った。	25	40301	50 ～ 99

7	6~7	構内にて荷物の仕分け作業中、ボックスの上段の荷物が崩れ落ちてきて、その際に後ろへ転倒した。その際に背部を作業用ローラーにぶつけてしまい、痛みがしばらく続いたので病院へ行ったところ、肋骨骨折と診断された。	58	40301	100 ~ 299
7	16~17	工場にて、クランプリフトラジエーター水点検のため出張点検中、2人で上カバーを取外中（後方）に、右側に積んで置いてあったトイレトーパー用の古紙原料が荷崩れて来て、右側にいた被災者の左足に倒れ、左足くるぶし後方を骨折負傷した。	25	11701	1~ 9
9	8~9	受傷者は、当社支店ホーム上において、スパンに仮置きされている商品を取り出すため、手前にある台車を引き出した際、その台車に積まれていた商品が崩れ、取手を握っていた右手に当たり負傷したものである。	43	40301	100 ~ 299
9	15~16	弊社の倉庫で、切断完了した鋼材の束を出荷の為、一カ所にまとめていた鋼材の束に玉掛けを行い、クレーンで切断機より置場に移動した後、ワイヤーロープを回収する為に、片方のヘビ口をはずし、もう片方をクレーンで巻き上げて引き抜こうとしたが、下ろした時にワイヤーロープが盤木（まくら）と鋼材にはさまっているのに気がつかないままクレーンを巻き上げ続けた結果、束が被災者の方へ落下した。	49	80109	1~ 9
9	10~11	C棟東16柱北側、形鋼切断機付近で被災者が同僚二人で束ねてある角パイプ（16束、1本7メートル、215kg）の解放作業をしていて、同僚が結束スチールバンドをグラインダーで切ったところ、積み重ねてあった角パイプが付近にいた被災者の方に崩れてきて左足がパイプと残材（H鋼）の間に挟まれ、左足首上を骨折した。	30	11209	100 ~ 299
10	3~4	夜勤の勤務時に出荷場でコンテナ台車を8枚積み重ねて運搬作業中に、通路幅のパレットへ積み重ねられた特大リール入りのプラスチックダンボール箱（約5kg）の上部1箱が倒れてきて、手で押さえようとしたが転んでしまい、プラスチックダンボール箱の角部が左足脛部に落下してきて負傷。夜明け前の出荷場の出来事であり、薄暗い状況であった。	33	170101	300 ~ 499

10	3~4	着荷場に空リール端子箱を平台車で運搬し端子空箱を指定の場所に積み上げた。平台車が8段溜まったため、資材エリアに平台車を移動しようと背面に移動し運搬した。平台車運搬時に横に積み上げている特大リール梱包箱が倒れてきて、その弾みで尻もちをつき、倒れてきた特大リール梱包箱が左足脛にあたった。	33	11403	300 ~ 499
10	11~ 12	トムソン作業場に於いてはバランスを崩して刷本が右足に直接落下して負傷した。	34	10702	1~ 9
10	15~ 16	パルプ置き場でパレットに乗っていたパルプ4段×2列をまとめていた番線を切った時、パルプがパレットよりはみ出していたため、傾いてパルプ3個に押されて倒れパルプの下敷きになり受傷した。	20	10601	100 ~ 299
10	9~ 10	容器洗い場で、洗い作業中空容器の乗ったパレットを移動しているのを手伝おうと近づいたところ、空容器が倒れかかってきて支えきれず後ろに倒れ、後頭部を打ち、左手の上に倒れてきた容器が当たり、指の爪を裂傷した。	31	10106	30 ~ 49
11	9~ 10	作業場で、製材した木材の移動中、被災者が、運転者が積み上げようとしていた荷物と別の荷物の間で、前に屈みこんで作業をしていた時、運転者が被災者に気付かないまま荷を持ち上げたところ、バランスが悪く荷物が被災者の右側から崩れて来たため右足を負傷した。	41	10401	1~ 9
11	17~ 18	当日出勤後、釣銭の準備をした後、乗務点呼を行った。その後、乗務前に持ち物の整理を行い不要な資料をゴミ箱へ捨てた際に、ゴミ箱の蓋（振り子式=フラップ式）に右手中指を挟み受傷した。指先から出血が多く皮が裂けた感じであり、止血処置を行うも回復の兆しもないため救急病院へ向かい受診した。	54	40301	30 ~ 49
11	8~9	上屋2号棟にて玉ねぎ、大根、キャベツの40フィートデバン作業中、貨物が突然荷崩れを起こし、当事者に当たり、外に投げ出され地面に落下した際、顔を強打してしまった。（ヘルメットは着用していた。）	48	50202	30 ~ 49
	19~	社内入口付近にて荷物を出す準備をしていた時、薄暗い所に置いた木の箱（55×40×17cm）に躓きくるぶしを強打、ひねり右足首を負傷した。右			1~

11	20	足関節捻挫、靭帯損傷、歩行困難のため松葉杖使用、葬祭業務・運転不可能となった。	50	170209	9
11	14～ 15	工場内製造1課調合部門で勤務中に、工場外のゴミ置き場まで台車に積んだゴミを捨てに向かっている途中、通路横に積んであった空の一斗缶が崩れ落ち、右ふくらはぎに一斗缶の開口が当たり、裂傷を負った。	36	10104	～ 299
11	13～ 14	当社、作業所内にて、作業終了後の床の掃除で廃畳の積み上げてある（高さ2.5m位）側で掃いている時廃畳が崩れてきて、左足に当たり負傷した。	34	150102	～ 29
11	11～ 12	工場でパイプの切削を行っている時に束にして置いてあったパイプの固定が緩く、束がばらけてしまい、パイプが足に落下した。	27	11209	1～ 9
11	9～ 10	ポンプ2台（約100kg）をビル5階の配送先へ降ろす際、（台車に載せる時）荷物が滑り、左足の甲へ荷物が載って、左足小指第2指を骨折した。	67	40301	10 ～ 29
11	11～ 12	給食配送先の配膳室で給食配送車両から給食配送用のステンレス製コンテナ（170cm×80cm×170cm）を降ろす作業中、パワーゲートのストッパーが掛かっているのに気付かずコンテナを引き出そうとした。それでコンテナが傾き倒れるのを押さえようとしたがコンテナが倒れた為、左足先が転倒したコンテナに挟まり負傷した。	70	40301	50 ～ 99
11	9～ 10	弊社ヤードにて、コンステージの入庫作業中、横倒しの状態で返却されてきたため、起こそうとしたところ、倒れてきたコンステージに右足を挟み、負傷した。	54	80409	1～ 9
11	18～ 19	当社資材センターにて被災した、被災者は、現場から持ち帰った足場用鉄製の支柱（直径5cmの筒状パイプ、長さ4m、重さ約13kg）54本の束を資材置場に整理する作業中、支柱を束ねていた番線をほどいたところ、重なった支柱全体を支えるのを忘れ、積み重なった支柱がバランスを崩して被災者の左足に落ち、足首を負傷した。（作業服、安全足袋（つま先保護）着用）	26	30201	10 ～ 29

12	9~10	トラックの冷蔵庫から、売場に台車に載った番重（惣菜入り）を運んだ。2個の連結台車のうち1個がレジ前近くで外れてしまったようだが、それに気付かなかった。手を離れたところ番重のバランスが崩れ、とっさに支えようとして番重が足に当たり、左膝の靭帯を損傷した。	60	80209	10 ~ 29
12	8~9	空の牛乳ケースを載せたカゴ車を片付けようと空台車置場に移動させていた。横に押した際、車輪が動かず載せていた牛乳ケースが倒れ、玉子台車にあたった。そのとき、自分に向かって倒れてきたが、避けきれず左足甲にあたり打撲した。	65	80209	100 ~ 299
12	7~8	トラックの荷台でゲートを稼働して荷下中、荷物を不安定な状態で置いたところ、何らかの衝撃があったのか、突然荷物が被災者の正面に滑り落ちてきたので避けきれず、仰向けに倒れて全身打撲を負った。	67	40301	30 ~ 49
12	12~13	倉庫内において作業中、積み上げた荷物（折り畳みコンテナに入っている）が崩れ、頭部・肩・腕に当たった。外傷は見受けられなかったが、気分が悪くなったため、医師の診断を仰いだ。	50	40301	1~ 9
12	15~16	ホテル客室の玄関で、お客様のスーツケースを部屋の中へ運び入れようとした。両手でスーツケースの取っ手をつかんで、玄関の踏み台（段差10cm）の上にスーツケースを持ち上げようとしたが、スーツケースが重かった事と、足袋を履いていた右足が草履の上で滑ってしまい、スーツケースが持ち上がらずに、そのまま自分に向かって倒れてきた。（まるで人間が入っているかのような重さであった。）結果、自分は立ったままの状態ですーツケースが自分の左足の上に押し掛かってきて、左足の太ももの外側の骨を骨折し、太ももに青アザもできた。	77	140101	50 ~ 99
12	16~17	工場内材料置場にて、3本をバンドでまとめたあるスチールコイル材（1本直径1m、重さ200kg程度）のバンドを切断し、右端のコイル材1本を転がしながら取り出そうとしたとき、コイル材を右腕で掴んだところ、3本のコイル材が右腕の方に倒れてきて、他のコイル材との間に右腕が挟まれ、打撲した。	26	11502	10 ~ 29
		トラックからみかんを積んだパレットを3台降ろしていた。最後の3台目			

12	12~13	を降ろす際、リフトが上がりきっていなかったため、トラックのハッチとリフトの間に段差ができ、パレットを引き込んだときにパレットが傾いた。一時は支えたが重量に耐えられず、パレットの下敷きとなった。	42	10101	300 ～ 499
12	14~15	大型トラックの荷台（ウイング車）で、運転席の方を向き手積み作業をしていたとき、斜め後方から段ボール箱が倒れてきて下敷きになった。その際、ヘルメットを着用していたが、右こめかみ辺りを強く打った。段ボールはフォークリフトのパレットに3段で積まれ、トラックに積む際、リフトを上げた状態で手前3段が倒れた（1箱約20kg）。作業は、被災者とフォークリフト運転手の2名のみで行っており、積み込み時に声かけはしていなかった。	39	170101	30 ～ 49
12	9~10	工場1F米置き場において、原料米の整理をしていたとき、フレコン（米の台車）を移動させようとした際にバランスが崩れ、重さ約400kgの米袋が倒れて右足に当たり、骨折した。	58	10109	30 ～ 49
12	9~10	工場1F米置き場において、原料米の整理をしていたとき、フレコン（お米の台車）を移動させようとした際にバランスが崩れ、重さ約400kgの米袋が倒れて、右足に当たり、大腿骨を骨折した。	58	170101	—
12	9~10	ライスセンター倉庫内にて、米の積み込み作業中、リフトでパレット積みされた米のうち、2段重ねの上段を取ろうとしたところ、上段の米が片方に崩れそうになったため、リフトを降りて手で直そうとしたとき、上段のパレット積みの米が落下し、米の下敷きになった。	33	80209	10 ～ 29
12	14~15	積み荷パレットを降ろしたとき、パレットが重いので局員に要請し、2人で降ろしていた。残りのパレット1台を降ろしていたときに、テーブルリフトを上げずに本人が作業したため、パレットが本人に覆いかぶさり、下敷きとなり負傷した。	66	40301	30 ～ 49

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html